

防災行政同報無線屋外子局移設作業委託（子局番号403）仕様書（案）

1 概要

防災行政用同報無線屋外子局（子局番号403）を既存の場所から移設させるもの。
既存の柱については、撤去するものとする。

2 作業場所

- （1）相模原市緑区川尻5393番2（別添 位置図①、別添 写真①参照）
- （2）相模原市緑区川尻5485番1（別添 位置図②、別添 写真②参照）

3 履行期限

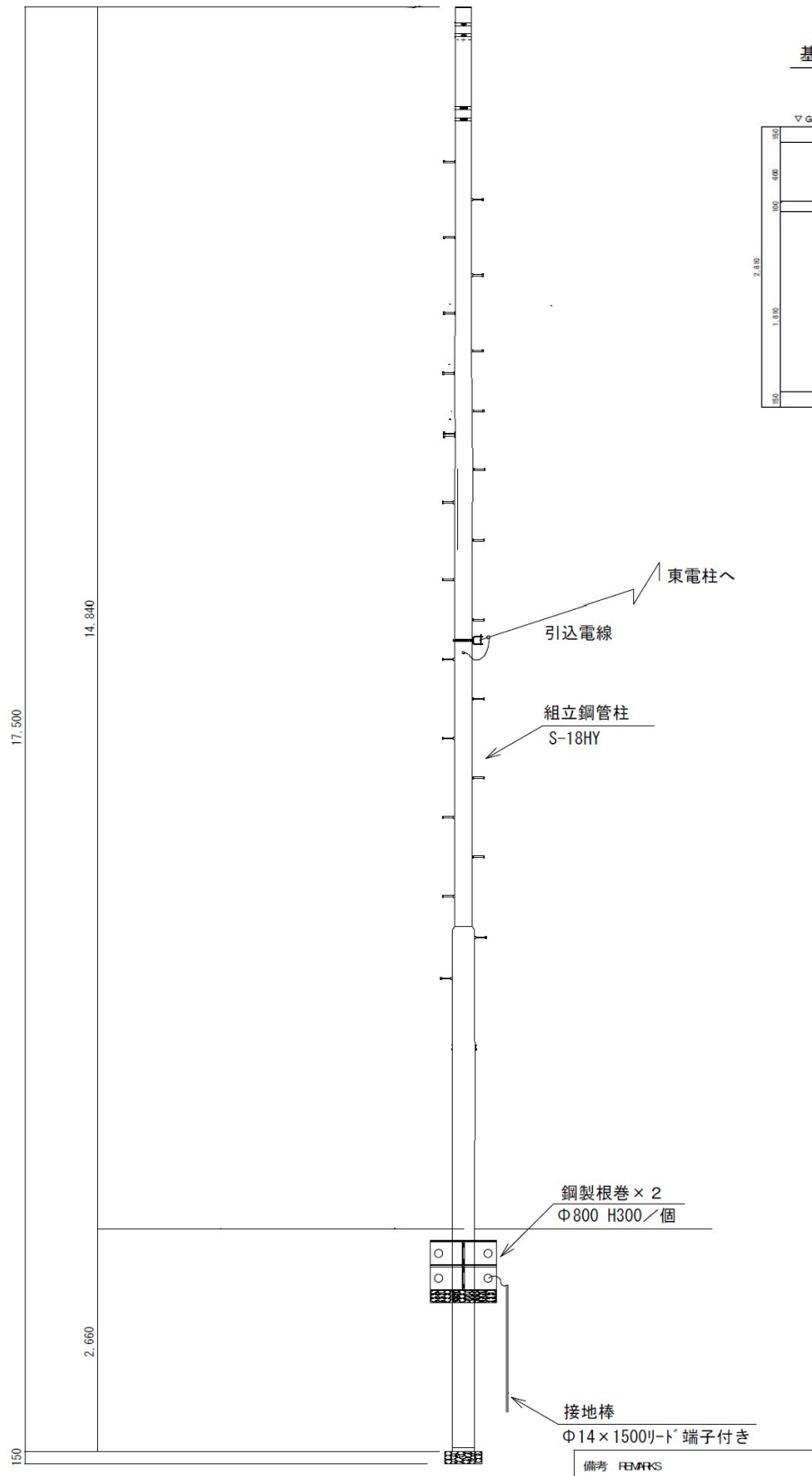
契約日から令和7年9月30日

4 内容

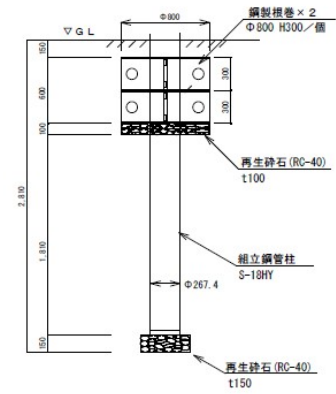
（1）防災行政同報無線子局柱の建柱

- ①「2作業場所（1）」の場所において、以下の図面通り、建柱を行う。なお、鋼管柱については、ヨシモトポール株式会社のエースマスト S-18XM と同等品を用いるものとし、これ以外を用いる場合は発注者の承諾を得るものとする。

屋外拡声子局姿図(縮尺1:60)



基礎詳細図(縮尺1:30)



- ②アース線については、2.0mの位置で自在バンドに束ねておくこととする。
- ③足場ボルトについても取り付けのものとす。
- ④道路使用許可等、官公庁等への届出が必要とされる場合は、届出申請を行うものとする。
- ⑤作業現場には、公衆が見やすい場所に次の事項を記載した作業看板を表示する。
 - ・作業名称
 - ・作業期間
 - ・受注者及び連絡先
 - ・現場代理人氏名及び連絡先
 - ・作業概要
 - ・発注者及び連絡先
 - ・監理者及び連絡先
- ⑥残土の処理は場外搬出処理とし、適切に処分を行うものとする。
- ⑦掘削後地下埋設物が出てきた場合は、掘削箇所を元の状況に復旧し、再度掘削箇所について、発注者に指示を求めることとする。
- ⑧作業の施工中あたっては、関係法令により、作業現場における標識施設等を設置することとし、クレーン等の重機利用時は、カラーコーンで区画し安全管理を図ること。
- ⑨施工にあたっては、近隣等への作業の周知を行うこと。
- ⑩本市の環境方針を遵守すること。
- ⑪鋼管柱を保管しておく場所は、周辺にはないので建柱当日に持ち込む等、留意すること。

(2) 防草シートの敷設

「2作業場所(1)」の場所において、約4㎡の範囲に防草シートを敷設する。
詳細な範囲は写真③のとおりとする。

(3) 既存の防災行政同報無線子局柱（子局番号 4 0 3）から新設柱への無線機等の移設および既存柱の撤去

- ① 「2 作業場所（2）」から「2 作業場所（1）」に以下のとおり、既設柱から新設柱に無線機等を移設し（一部撤去、一部購入し設置）、既設柱は、基礎のコンクリートを含めて撤去する。子局の構造については、別添「子局構造図」の通り。撤去したスピーカー、鋼管柱、基礎コンクリート等については適切に処分するものとする。

NO	既設柱			新設柱		
	機器	数量	取扱い	機器	数量	取扱い
1	アンプ 120W	1 式	新設柱に移設	アンプ 120W	1 式	既設柱から流用
2	空中線	1 式	新設柱に移設	空中線	1 式	既設柱から流用
3	外接箱	1 式	新設柱に移設	外接箱	1 式	既設柱から流用
4	無線装置	1 式	新設柱に移設	無線装置	1 式	既設柱から流用
5	同軸ケーブル	1 式	新設柱に移設	同軸ケーブル	1 式	既設柱から流用
6	レフレックス スピーカー	3 式	撤去処分	スピーカー (※60W)	2 式	受注者側で用意したものを設置
7	鋼管柱(基礎含む)	1 式	撤去処分	鋼管柱(基礎含む)	1 式	受注者側で用意したものを設置

※ユニペックス製 防災用ホーンコラムスピーカー 60W 型式：HC-B60

- ②撤去にあたり支柱、ネット等（別添 写真を参照）が支障となる場合は、一時的に撤去してもかまわないが、その場合は元の状態に戻すこととする。
- ③撤去後の基礎があった部分は、土で埋め戻し、地面をならすこと。
- ④既設柱から新設柱への機器の移設は 1 日で完了するよう調整を図ること。
- ⑤東京電力に電気利用に係る申請及び撤去する柱で利用している廃止申請も合わせて実施するものとする。

5 納品物

以下を PDF データ及び紙 1 部で提出するものとする。

- ・竣工図
- ・官公庁関係届出書類（コピー）
- ・写真（作業前・作業後が分かるもの）
- ・作業報告書

6 留意事項

- (1) 業務実施に係る消耗品、備品等は、受注者で用意すること。
- (2) 建物及び設備等に損傷を与えた場合は、直ちに発注者に報告するとともに、受注

者の責任において、速やかに原状回復を図ることとする。

- (3) 本業務に他の機器の異常を認めた場合は、直ちに発注者に報告し、その指示により速やかに復旧させること。
- (4) 業務中は通行車両等の安全に配慮すること。
- (5) 内容に疑義が生じた場合は、速やかに発注者と協議を行うこと。

以 上